

イエス様 を覚える

リベカ・ジェイクマン
(ほんとうにあった話をもとに書かれました)

「これは特別な本よ。
イエス・キリストを
覚える
助けになるわ。」



「私たちも良いことをしようと努力することを約束するのよ。」

ビクトリアはにっこりしました。「イエス様のようにになれるよにね!」

「そのとおり!」お母さんはビクトリアがくつをはくのを手伝いました。「イエス様のようになろうと努力すると、幸せになれるのよ。」

教会で、ビクトリアはお母さんとお父さんと一緒に

このお話は、アメリカ合衆国での出来事です。

ビクトリアは、お母さんがかみをとかすのを鏡で見えていました。もうすぐ教会の時間です。

「何のために教会に行くの?」ビクトリアはたずねました。

お母さんはヘアブラシを置きました。「せいさんを受け、イエス・キリストについて学ぶために教会に行くのよ。」

「でもなんで?」ビクトリアはたずねました。

「パンと水は、イエス様がわたしたちのために苦しみなくられたことを思い起こす助けになるのよ」と、お母さんは言いました。「せいさんを受けるとき、主がなさったすべての良いことを思い起こすの。そして、わた



しずかにすわりました。やがてせいさん式の時間になりました。頭を下げて、いのに耳をかたむけました。

すると、お母さんがかばんから本を取り出しました。「これは特別な本よ」と、お母さんはささやきました。「せいさんの間、救い主を覚える助けになるわ。」

ビクトリアは本を開きました。イエス・キリストの絵がたくさんありました。ある絵には、飼葉おけの中の赤んぼうのイエス様がえがかれていました。別の絵には、イエス様がバプテスマを受けられる場面がえがかれていました。ビクトリアはそのお話を初等協会で聞いたのを思い出しました。自分もいつかバプテスマを受けるのです!

お母さんがパンをのせたトレイを差し出しました。ビクトリアはけいけんに一切れを取りました。そして、本をまた見ました。次のページには、園でいのられるイエス様の絵がありました。ビクトリアは、主がすべての人のつみのために苦しめ、そのいたみと悲しみを感ぜられたことを知っていました。主はわた



したちをととても愛しておられるにちがいない、と思いました。

ビクトリアはページをめくり続けました。たくさん絵には、イエス様がほかの人たちを助けられている様子が見えていました。ある絵では、主は人々に教えておられました。

別の絵では、目の見えない人をいやさ

して、子供たちとともにいられる絵もありました。

次に水の時間になりました。ビクトリアはいのりの間、頭を下

げました。それから、お母さんがトレイをわたしました。ビクトリアは小さなカップに入った水を飲みました。イエス様がどれほど人々を愛しておられるかを考えました。心が温かい気持ちでいっぱいになりました。自分もやさしく、愛にあふれた人になりたいと思いました。

「お母さん、わたしはイエス様のようにになりたい」と、ビクトリアはささやきました。

お母さんはにっこりしました。「それはうれしいわ。そして、イエス様もよろこんでおられるわ。」

ビクトリアもにっこりとほほえみました。イエス・キリストを愛していました。いつも主を覚えていたいと思いました。●



前のページを使って絵本を作り、せいさんの間イエス・キリストについて考える助けにすることができます。ほかにもどのようにイエス様のことを思い起こすことができますか。